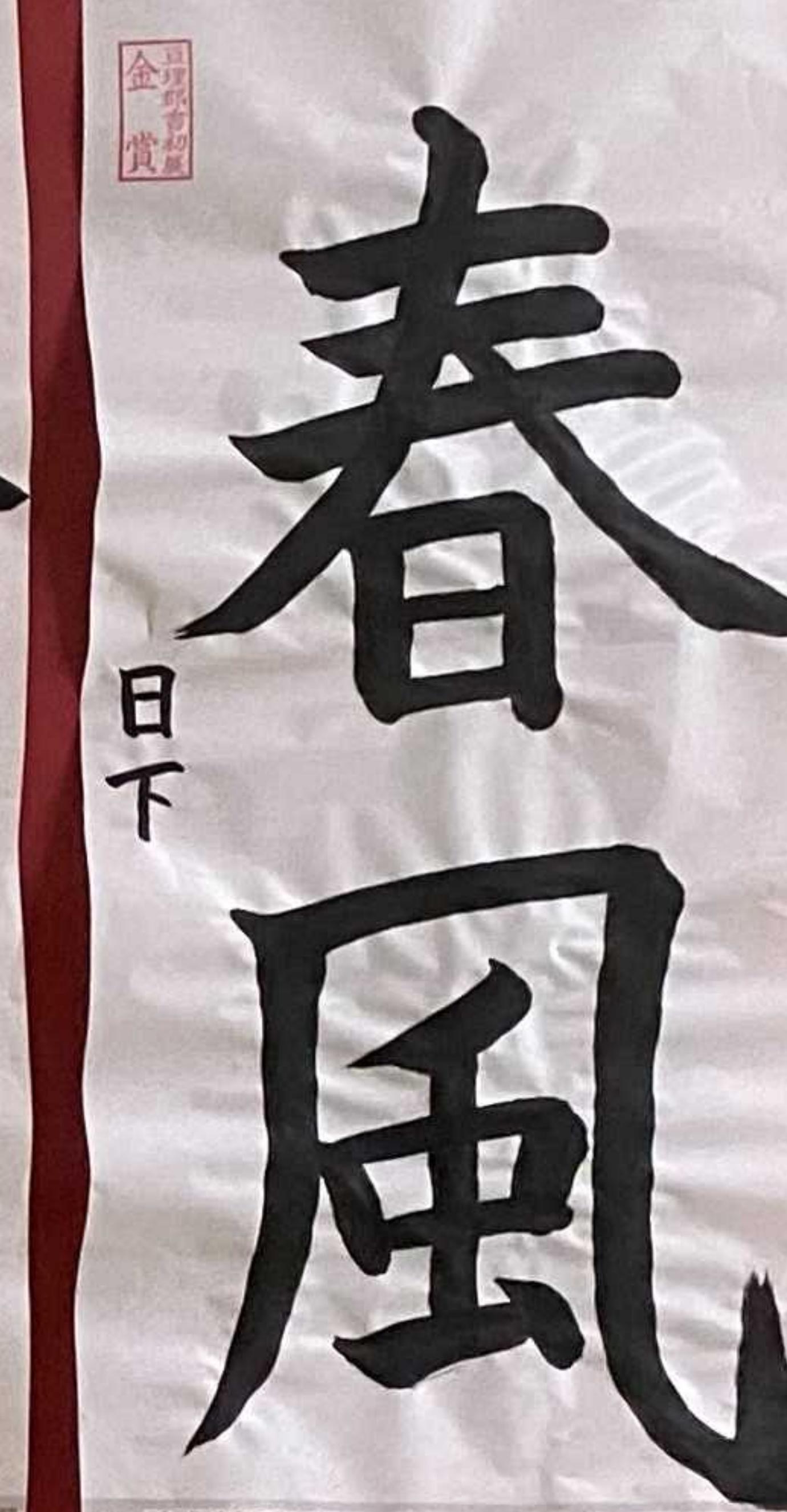
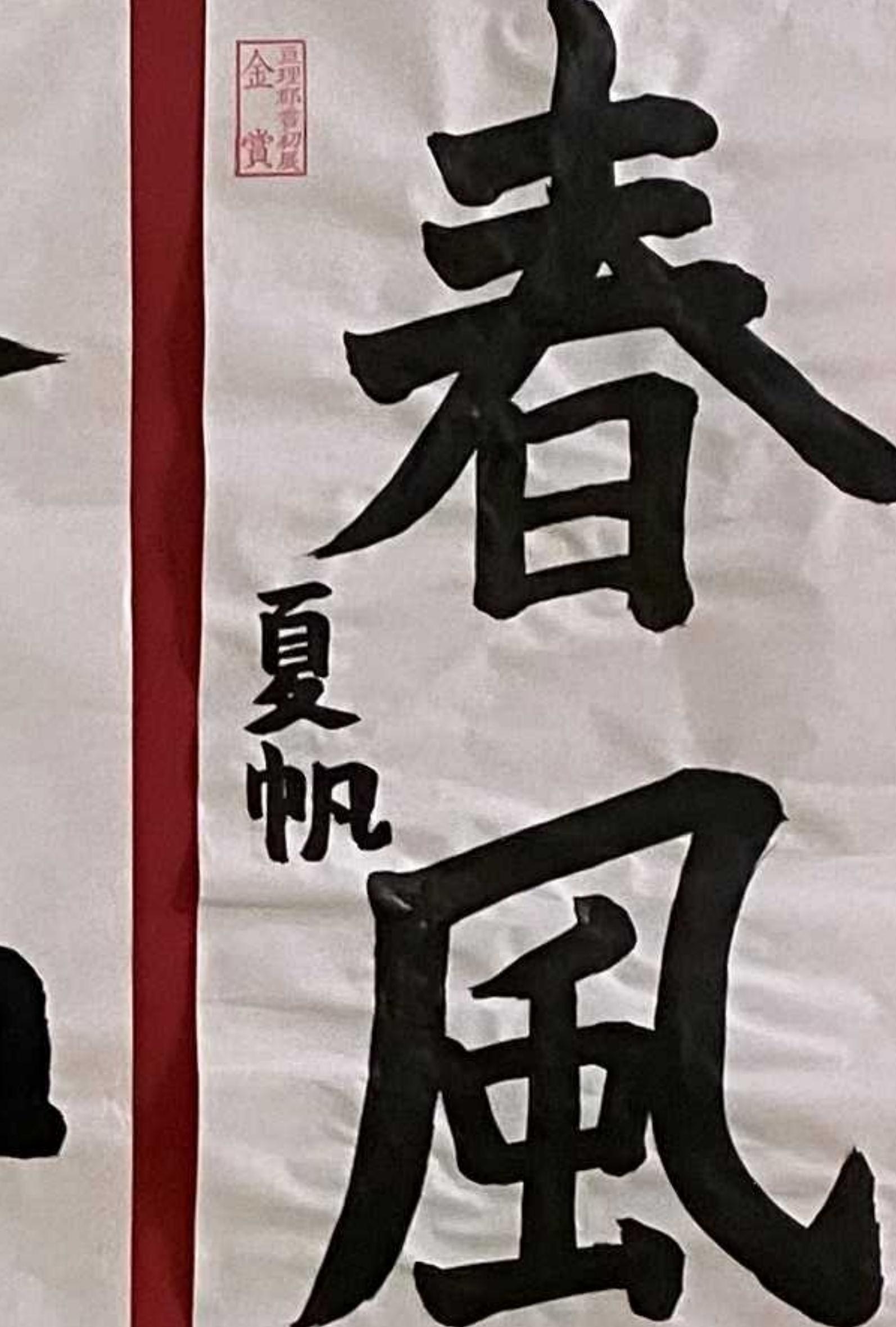
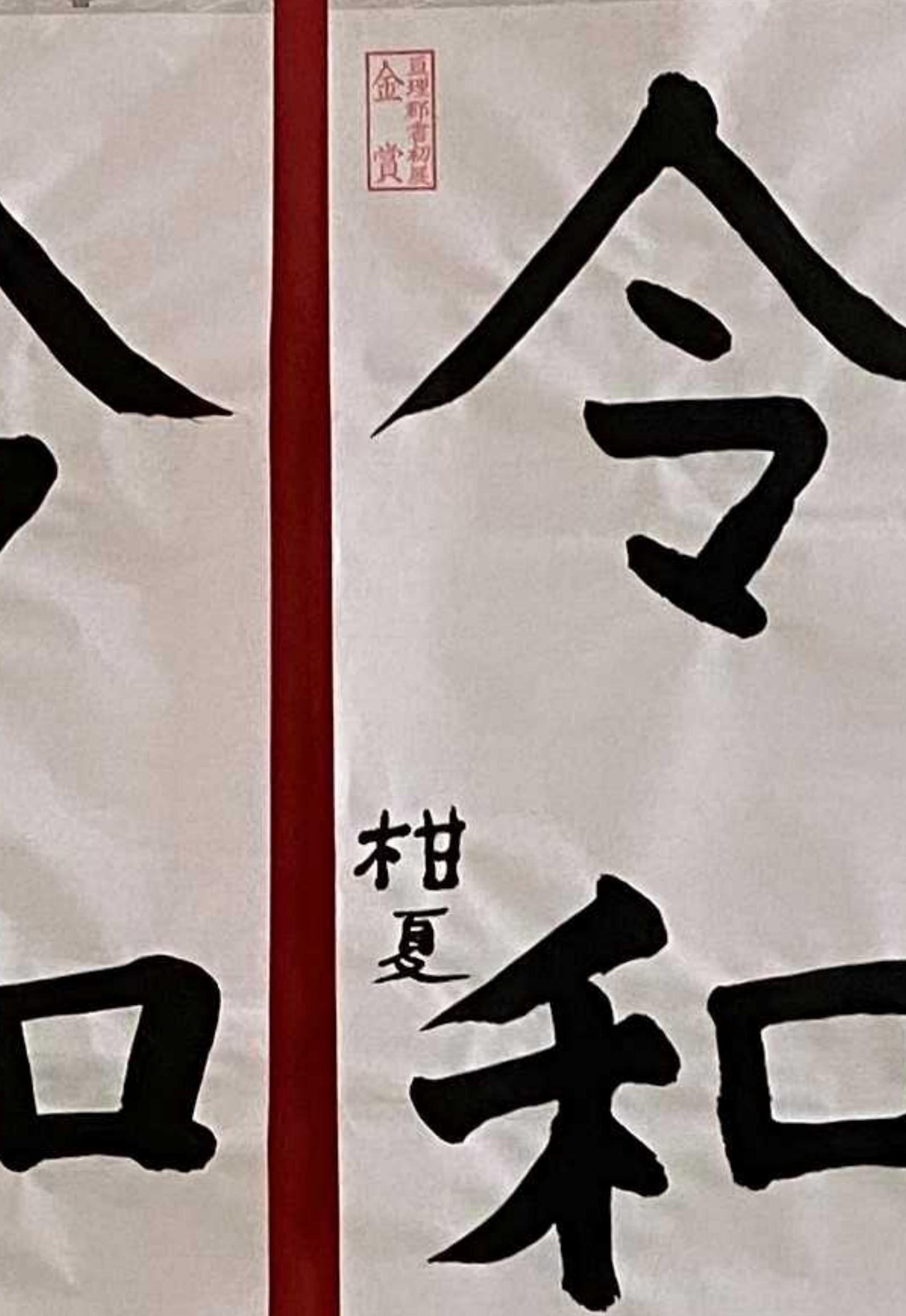
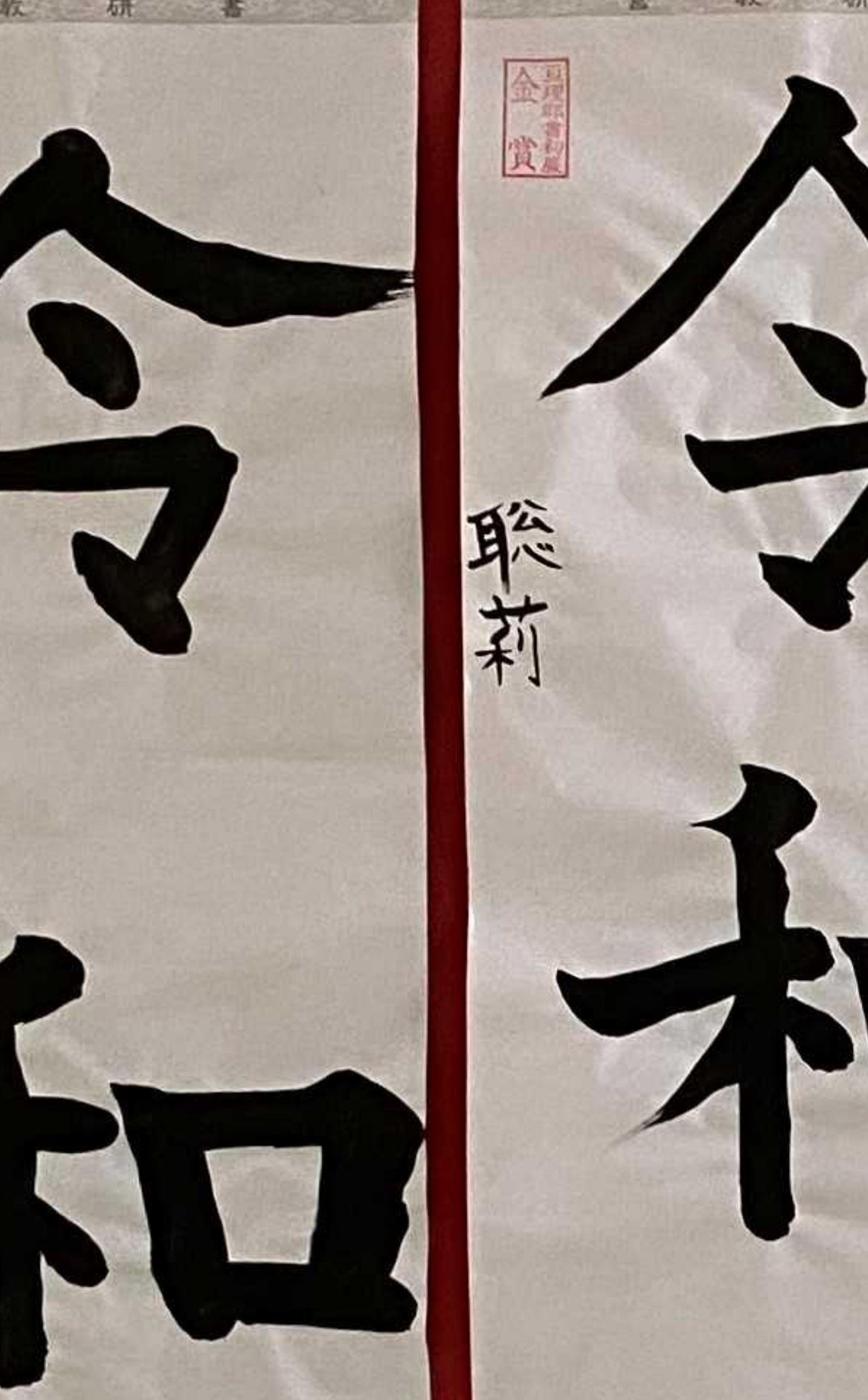
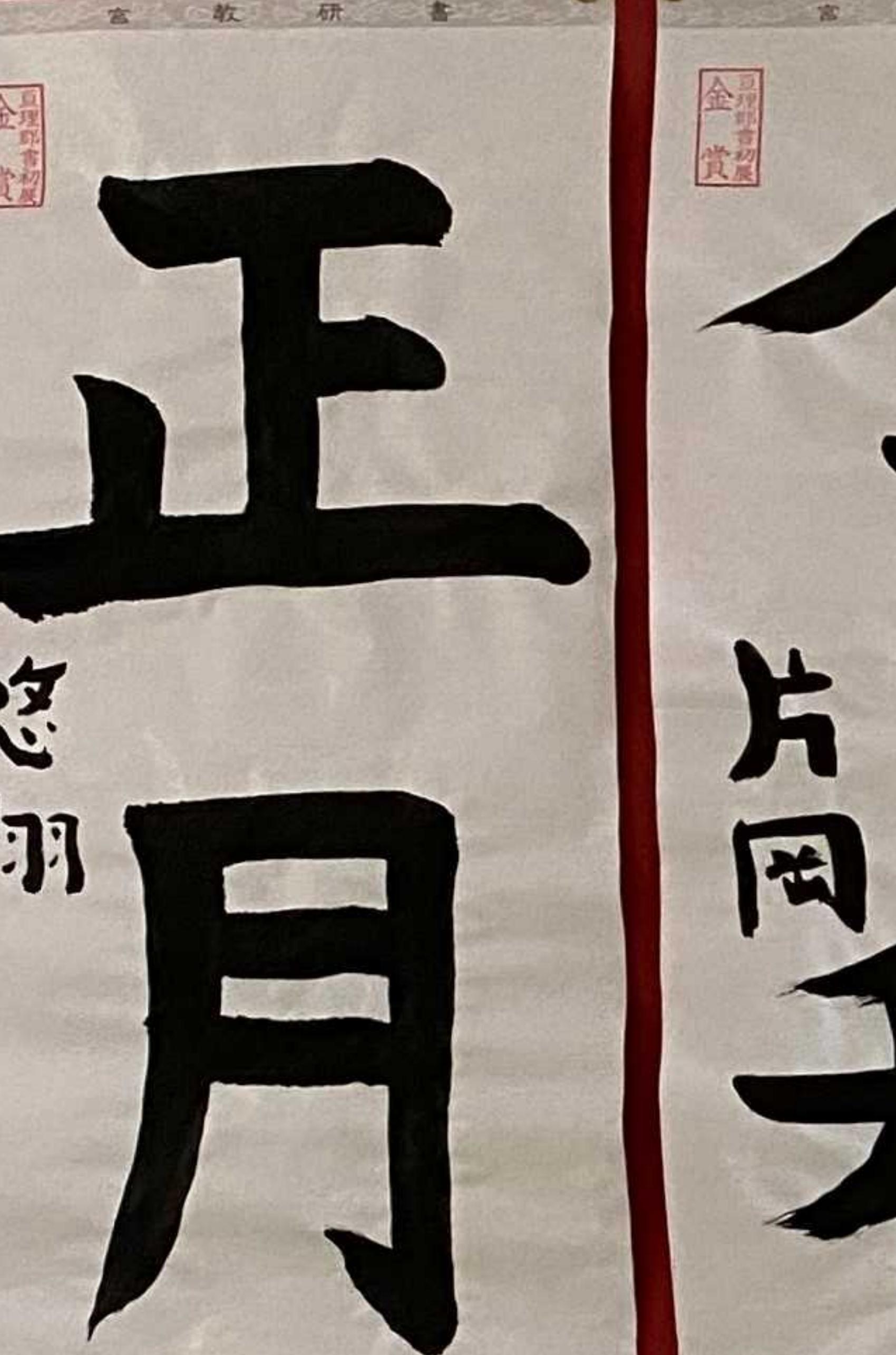
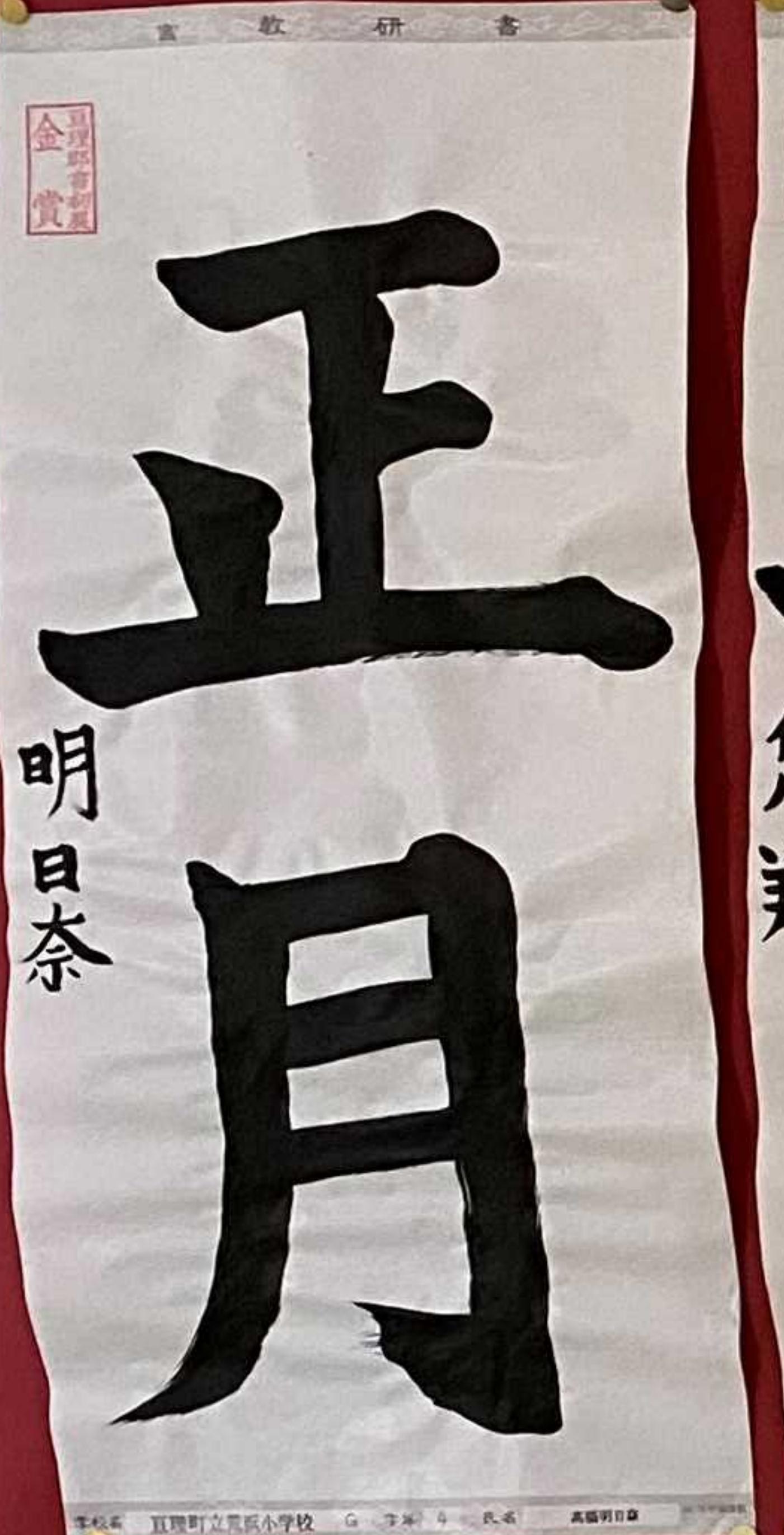


都入選作品



郡入選作品

春風

日下

春風

夏帆

令和

柑夏

令和

聰莉

宮 教 研 書

宮 教 研 書

宮 教 研 書

宮 教 研 書

金賞
亘理郡書初展

明日奈

正用

金賞
亘理郡書初展

悠翔

正用

金賞
亘理郡書初展

片岡

和

金賞
亘理郡書初展

聰莉

今和

はつ日かのほる。み
んなえがおでおめで
とう。

はつ日かのほる。み
んなえがおでおめで
とう。

「七草がゆ」をたべると
元気にすごせると言わ
れています。

「七草がゆ」をたべると
元気にすごせると言わ
れています。

「七草がゆ」をたべると
走りました。はずむ足音。
空が、きらきら光りま
した。

「七草がゆ」をたべると
走りました。はずむ足音。
空が、きらきら光りま
した。

遠い国へ
江戸時代の初め、港を
出航したサン・ファン・パウ
ティスタ号は、政宗の志を
乗せた船。およそ7年に
わたる旅の記録や資料は
多くのことを伝えてくれる。

山深み春とも知らぬ松の戸に
たえたえかかる雪の玉水
山が深いので、春になつたと気付か
ない小屋の松の戸に、とぎれとぎれ
にかかる宝石のよくな雪解け
の水よ。

山深み春とも知らぬ松の戸に
たえたえかかる雪の玉水
山が深いので、春になつたと気付か
ない小屋の松の戸に、とぎれとぎれ
にかかる宝石のよくな雪解け
の水よ。

山

山

美喜

山

聖

乃

金賞
亘理郡書初展

金賞
亘理郡書初展

聖乃

川山

美喜

川山

どんと祭は、正月かざりを
集めてもやす、昔から続く
行事。人々のねがいをのせて、
けむりが天にのぼって行く。

どんと祭は、正月かざりを
集めてもやす、昔から続く
行事。人々のねがいをのせて、
けむりが天にのぼって行く。

どんと祭は、正月かざりを
集めてもやす、昔から続く
行事。人々のねがいをのせて、
けむりが天にのぼって行く。

どんと祭は、正月かざりを
集めてもやす、昔から続く
行事。人々のねがいをのせて、
けむりが天にのぼって行く。

四年 早坂 晃

四年 斎藤 恵花

遠い国へ
江戸時代の初め、港を
出航したサン・ファン・バウ
ティスタ号は、政宗の志を
乗せた船。およそ7年に
わたる旅の記録や資料は
多くのことを伝えてくれる。

5年 小野 聰莉

遠い国へ
江戸時代の初め、港を
出航したサン・ファン・バウ
ティスタ号は、政宗の志を
乗せた船。およそ7年に
わたる旅の記録や資料は
多くのことを伝えてくれる。

5年 鶩足 柑夏

山深み春とも知らぬ松の戸に
たえだえかかる雪の玉水
山が深いので、春になつたと気付か
ない小屋の松の戸に、とぎれとぎれ
にかかるている宝石のような雪解け
の水よ。

六年 伊藤 聖莉

遠い国へ
江戸時代の初め、港を
出航したサン・ファン・バウ
ティスタ号は、政宗の志を
乗せた船。およそ7年に
わたる旅の記録や資料は
多くのことを伝えてくれる。

5年 小野 悠都

山深み春とも知らぬ松の戸に
たえだえかかる雪の玉水
山が深いので、春になつたと気付か
ない小屋の松の戸に、とぎれとぎれ
にかかるている宝石のような雪解け
の水よ。

金賞

六年

塚邊 夏帆

金賞

六年

日下 知憲

はつ日がのぼる。みんなえがおでおめでとう。

まきの ゆめ

「七草がゆ」をたべると、元気にすごせると言わ
れています。

二年いとうゆい

友だちと手をつないで、走りました。はずむ足音。
空が、きらきら光りました。

三年 津田ゆらら

友だちと手をつないで、走りました。はずむ足音。
空が、きらきら光りました。

はつ日がのぼる。みんなえがおでおめでとう。

木むらここな

「七草がゆ」をたべると、元気にすごせると言わ
れています。

二年 ほしりく

「七草がゆ」をたべると、元気にすごせると言わ
れています。

二年つのじひなた

友だちと手をつないで、走りました。はずむ足音。
空が、きらきら光りました。